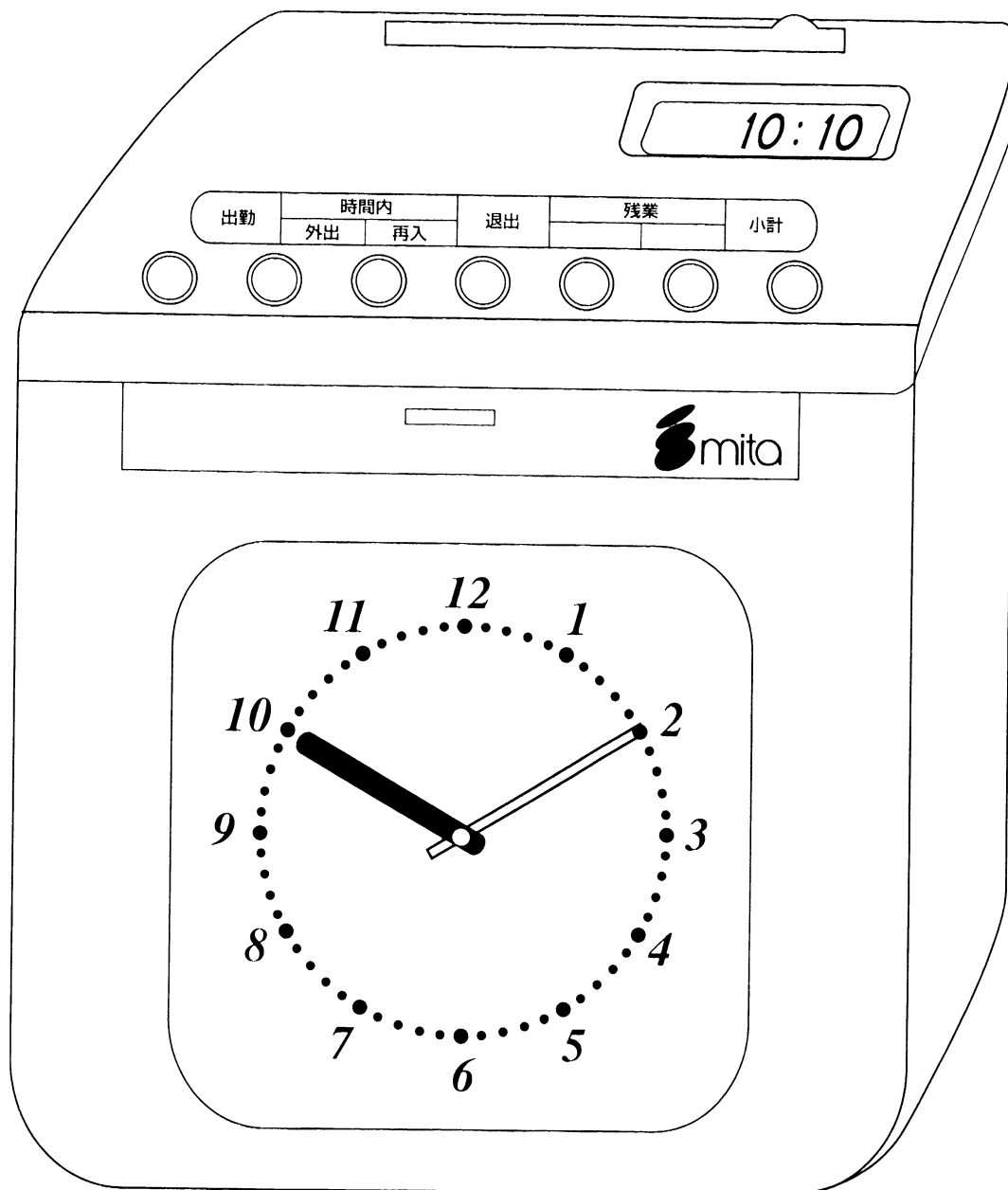


mitaクォーツタイムレコーダー

mk-505

取扱説明書



三田事務機株式会社

0120 0120-22-8505

ご使用にあたって

このたびはmitaクオーツタイムレコーダーmk-505をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

使用上の注意

以上のような場所を避けて設置してください。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・振動の激しいところ又は常時振動が発生しているところ

タイムレコーダーは、室温が-5℃から40℃の範囲の場所でご使用ください。また急激な温度変化を与えることは避けてください。

台に乗せ使用する場合には、70~80cmの高さの台にしっかりと固定してお使いください。電源は、本体ラベルに記載された電圧、周波数でお使いください。市販されているコンセントに電源コードを差ししてください。変動の大きい電源は使わないでください。

諸元

時	計	アナログ（2針式）およびデジタル（日付、時間、曜日を表示）
精	度	平均月差±10秒（常温）
自動月末調整		万年カレンダーによる曜日、月末およびうるう年自動調整（～2050年）
リボンカセット		2色（黒、赤）ファブリックリボンカセット
印字方式		ドットマトリクス
外部時報		有電圧接点
メモリ保持		無通電時間の累計で3年間
使用環境		温度：-5～40℃。湿度20～80% 結露なし ただし、-5℃以下でのご使用の場合は、印字品質は保証出来ません。
サイズ		180（幅）×230（高さ）×125（奥行） 単位mm
重量		本体のみ3.2キログラム

～目次～

- ・名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ2
- ・上カバーの外しかた・本体内部の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ3
- ・時刻の設定・年月日の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ4
- ・時報や2色切り替えの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ5
- ・自動欄設定・時報吹鳴時間設定・残業計算の設定・・・・・・・・・・・・ ページ6
- ・日替わり時刻の設定・パスワードの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ7
- ・オプションの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ8
- ・リボンの交換のしかた・外部時報配線のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ9
- ・トラブルシューティング・エラーコード一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ10

1 はじめに

年月日や時刻は、あらかじめ設定してあります。
電源プラグをコンセントに差し込み、カードの締め日
や各種設定を入力すれば、すぐにご使用頂けます。

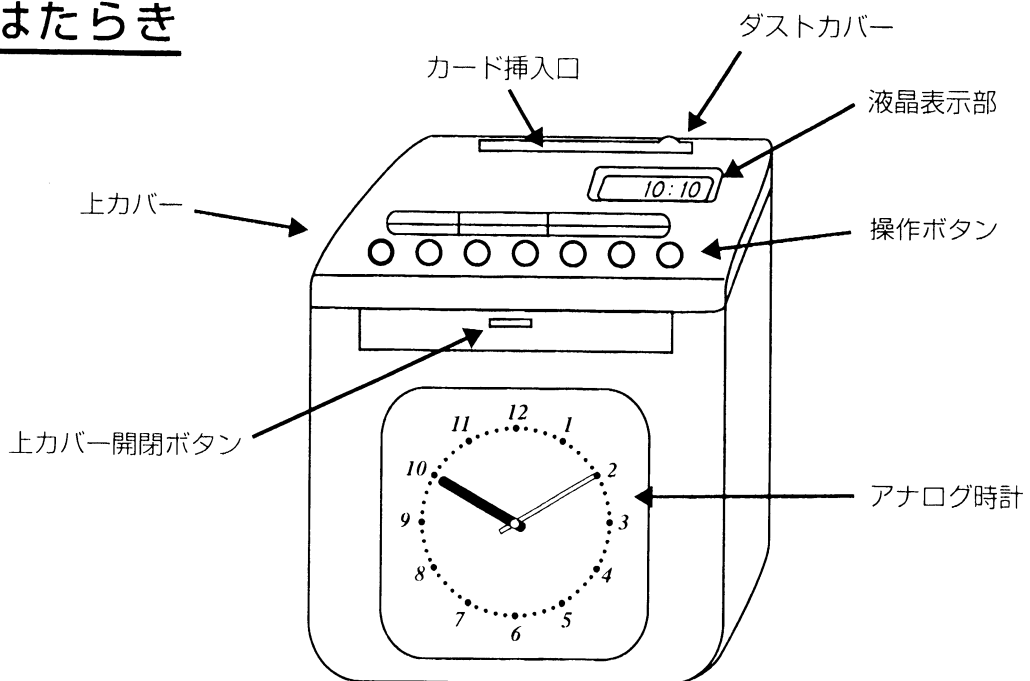
タイムカード見本

日付	出勤	時間内		退出	残業		小計
		外出	再入				
16	8:15				18:30	1.5	
17	8:42	12:03	13:12	17:11	20:49	3.5	
18	9:02						
19							

残業時間数を印字

- ※1日最大6欄印字!!
- ※遅刻、早退 赤印字!!
- ※自動印字欄切り換え可!!

2 名称とはたらき



～操作ボタンのはたらき（通常時）～

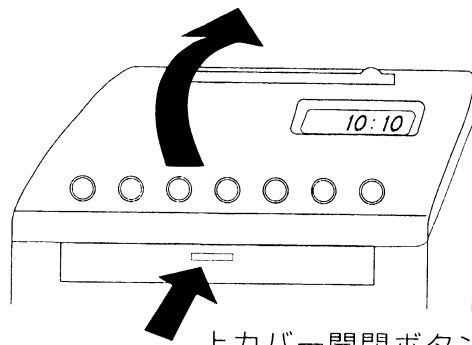
ボタン	機能
出勤	出勤の時このボタンを押し、ランプを点灯させ打刻します。
外出	外出の時このボタンを押し、ランプを点灯させ打刻します。
再入	再入の時このボタンを押し、ランプを点灯させ打刻します。
退出	退出の時このボタンを押し、ランプを点灯させ打刻します。
残業	残業の時このボタンを押し、ランプを点灯させ打刻します。 ●残業欄の左側は5欄目に時刻のみ印字します。 ●残業欄の右側は6欄目に時刻を印字し、右小計欄に残業積算時間数も印字します。（設定必要）
小計	特に使用しません（小計ボタンのランプが点滅している時に6欄目で打刻すると、残業積算時間を印字します）

3 上カバーの外しかた

各機能の設定は、上カバーを外して操作ボタンにて行います。

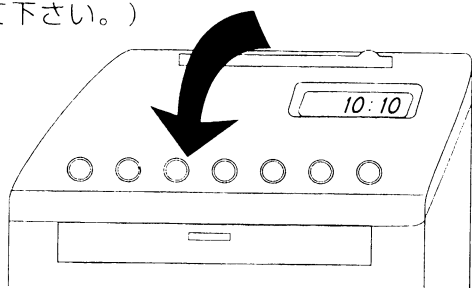
～カバーの外し方～

指でカバー開閉ボタンを押しながら、上カバー全体を上方向に持ち上げて外します。



～設定が終わったら～

上カバーを元通り閉じます。（しっかりカバーをセットしないと、設定モードになったまま打刻できません。隙間等ないか確認して下さい。）



4 本体内部の説明

～本体 操作部～（上カバーを外した状態）

①②③いずれか表示（現在設定中の項目番号を表示します。）

①時分②年月日③週間プログラム
○←上段アイテム設定中に赤く点灯

①欄移動②アラーム吹鳴③残業積算
○←中段アイテム設定中に赤く点灯

①日替わり時刻②パスワード③サマータイム
○←下段アイテム設定中に赤く点灯

項目 ① 項目 ② 項目 ③ + - セット A B C 選択

～操作ボタンのはたらき（設定モード）～

ボタン	機能
項目①	各設定アイテム中の①番の項目を呼び出します
項目②	各設定アイテム中の②番の項目を呼び出します
項目③	各設定アイテム中の③番の項目を呼び出します
+	設定数値を+1します（押し続けると早送りします）
-	設定数値を-1します（押し続けると早送りします）
ABC選択	設定アイテム（上段 中段 下段）を切り替えます
セット	設定内容・数値を確定します

5 各種設定のしかた

レコーダーに設定しているプログラムの変更や時刻の修正など各種設定の調整は、本体上カバーを外して（上カバー外し方ページ参照）、正面の操作ボタンにて行います。

- 時計の修正などレコーダーの時刻を調整したい時は Step1へ
- 年、月、日など日付の設定を調整したい時は Step2へ
- 時報チャイムや印字色（赤黒）の切り替え時刻を設定、変更したい時は Step3へ
- 出退印字欄の自動欄移動時刻を設定、変更したい時は Step4へ
- 時報が鳴っている秒数（吹鳴時間）を調整したい時は Step5へ
- 残業積算時刻を設定、変更したい時は Step6へ
- 日替わり時刻の設定を変更したい時は Step7へ
- パスワード（不正調整防止機能）を設定したい時は Step8へ

Step1 時刻の設定（時刻のズレを修正する時など）

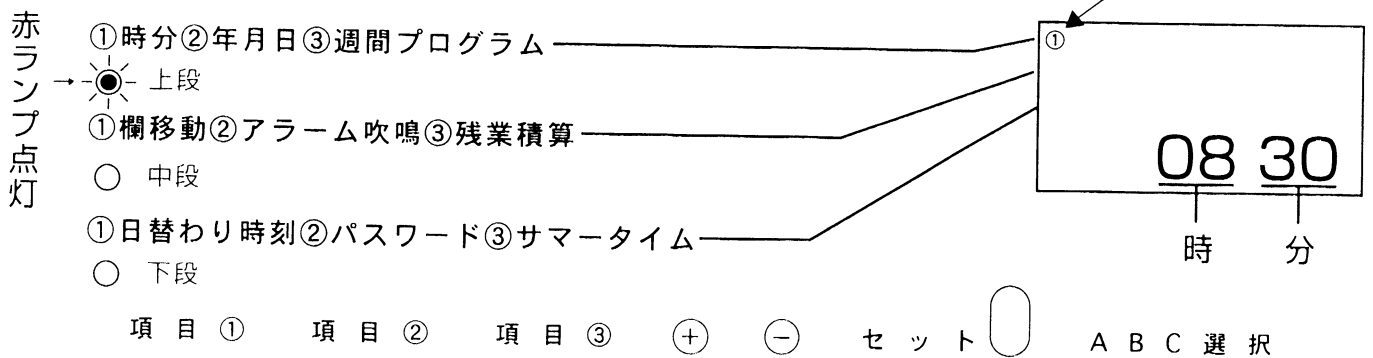
①時分

ABC選択 ボタンで上段アイテムランプを点灯させ 項目① ボタンで①を画面に表示させる。

まず時分の時の変更を + - ボタンで行い セット ボタンで登録。

次に時分の分の変更を + - ボタンで行い セット ボタンで登録します。

（分セットボタンを押した瞬間から時計はゼロ秒スタートします。）



Step2 年、月、日の設定（日付を調整する時など）

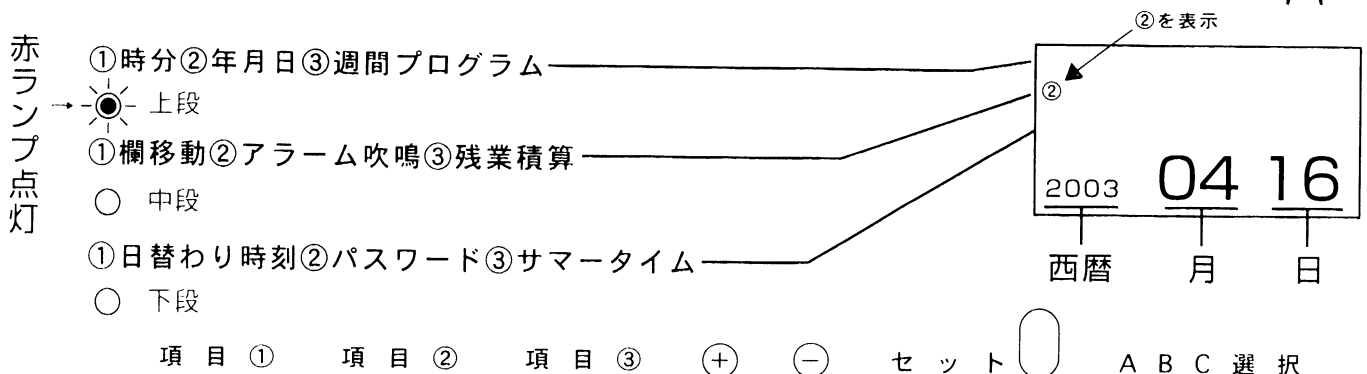
②年月日

ABC選択 ボタンで上段アイテムランプを点灯させ 項目② ボタンで②を画面に表示させる。

まず西暦の変更を + - ボタンで行い セット ボタンで登録。

次に月の変更を + - ボタンで行い セット ボタンで登録。

最後に日の変更を + - ボタンで行い セット ボタンで登録します。



Step3 時報、2色切り替え設定（就業時刻を変更する時など） ③週間プログラム

【ステップNo⇒設定時刻⇒曜日指定⇒赤黒印字指定⇒時報吹鳴指定の順で登録】

ABC選択 ボタンで上段アイテムランプを点灯させ 項目③ ボタンで③を画面に表示させる。

ステップNo. まず (+) (-) ボタンで変更したいステップナンバー（1～36）を表示させて セット ボタンで登録します。

設定時刻 次に設定時刻のセットに移り時分の時の変更を (+) (-) ボタンで行い セット ボタンで登録し、続いて設定時分の分の変更を (+) (-) ボタンで行い、 セット ボタンで登録します。

曜日指定 次に設定有効曜日を登録します。まず月曜（MON）が画面上で点滅しますが、月曜日を有効にするには (+) ボタンを、無効にするには (-) ボタンを押し有効にする曜日を指定します。

月曜（MON）の指定をすると次に火曜（TUE）が点滅し、同様に (+) (-) ボタンにて指定します。

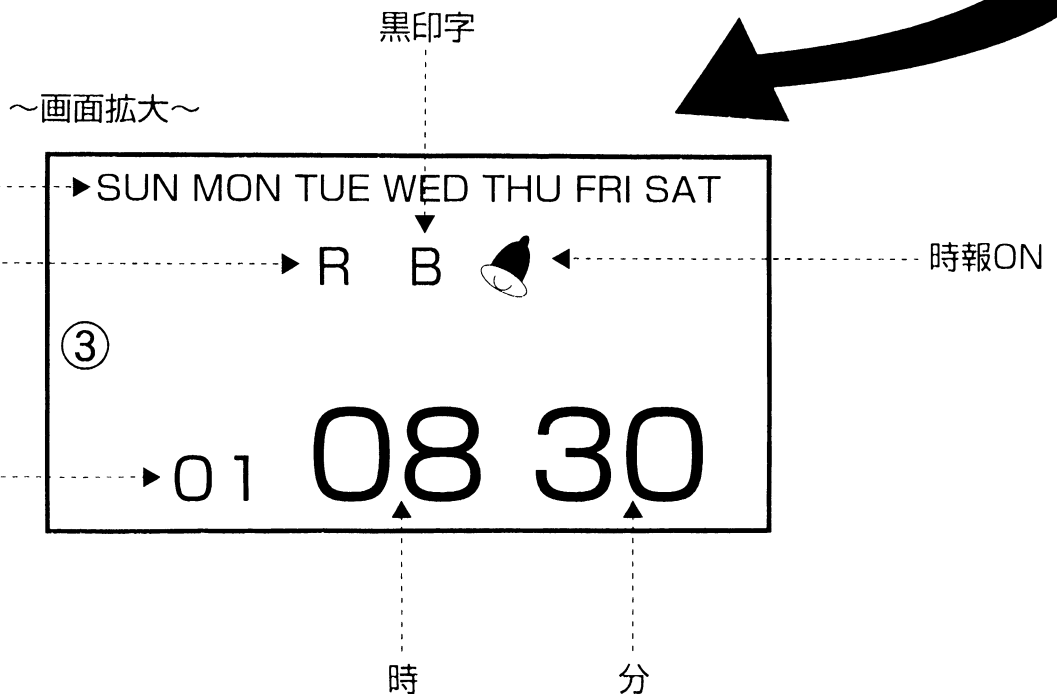
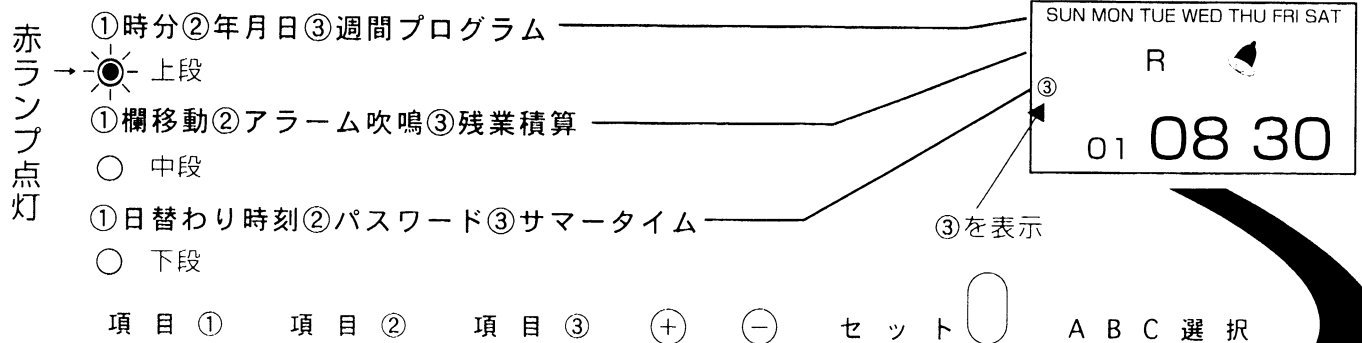
その後水曜（WED）→木曜（THU）→金曜（FRI）→土曜（SAT）→日曜（SUN）の順で指定し、すべての曜日の登録が完了したら セット ボタンで曜日を確定します。

赤黒印字指定 次にその設定時刻の印字色を設定します。

(-) ボタンを押すごとに R（赤印字）→B（黒印字）→無表示（指定なし、前時刻設定の指定色を継続）を繰り返し表示しますので、いずれかを表示させ セット ボタンで登録します。

時報吹鳴指定 最後に時報（チャイム）を鳴らすかどうかを指定します。

(-) ボタンを押すごとに (時報を鳴らす) →無表示（時報を鳴らさない）を繰り返し表示しますので、いずれかを表示させて セット ボタンで登録します。



Step4 自動欄設定（出退欄など自動的に印字欄を移動させる設定）①欄移動

(ABC選択) ボタンで中段アイテムランプを点灯させ (項目①) ボタンで①を表示させる。

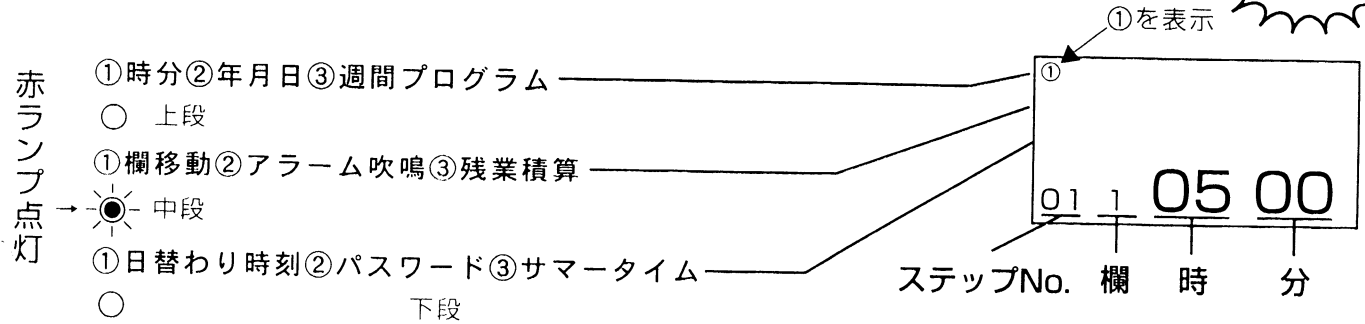
まず一番左に表示のどのステップNo.(1~6) を呼び出すか (+) (-) で表示させ (セット) ボタンを押し呼び出す。(ステップはNo.1から順にセットして下さい)

次に第何欄目に移動させるかを (+) (-) ボタンで指定し (セット) で確定する。

(出勤→第1欄 外出→第2欄 再入→第3欄 退出→第4欄 残業左→第5欄 残業右→第6欄)
最後に移動させる時分をセットします。

まず時分の時の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録。

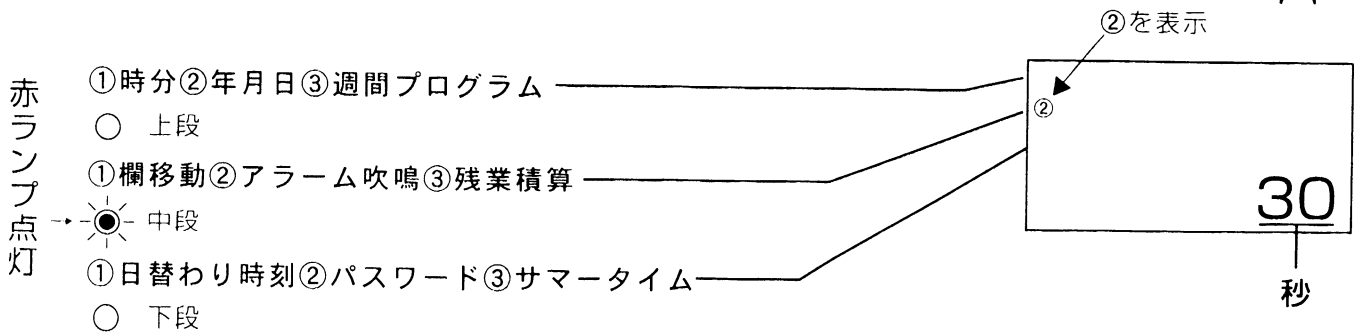
次に時分の分の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録します。



Step5 時報吹鳴時間の設定（時報の鳴る秒数を変更する時）②アラーム吹鳴

(ABC選択) ボタンで中段アイテムランプを点灯させ (項目②) ボタンで②を表示させる。

次に (+) (-) ボタンで吹鳴秒数を指定し (セット) ボタンで登録します。



Step6 残業計算の設定（日々の残業時間数を印字する際の開始、終了時刻を設定、変更する時など）

③残業積算

(ABC選択) ボタンで中段アイテムランプを点灯させ (項目③) ボタンで③を表示させる。

まず残業計算開始時刻を設定します。(画面左下にA1と表示している時)

開始時分の時の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録。

次に時分の分の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録します。

最後に残業計算終了時刻を設定します。(画面左下にb1と表示している時)

注意：終了時刻を過ぎて打刻しても、残業時間数を印字しません。

終了時分の時の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録。

次に時分の分の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録します。

設定例：定時終了時刻17：30で、17：30以降はすべて残業扱いとする場合（日替わり時刻3時）
⇒ 残業開始時刻（A1）17：30 残業終了時刻（b1）03：00と設定します。

Step6
画面

①時分②年月日③週間プログラム
○ 上段

赤ランプ点灯 → ①欄移動②アラーム吹鳴③残業積算
○ 中段

①日替わり時刻②パスワード③サマータイム
○ 下段

項目① 項目② 項目③ (+) (-) セット

A1 : 残業開始時刻
b1 : 残業計算終了時刻
A B C 選択

Step7 日替わり時刻の設定 (日付変更時刻の設定をする時)

ABC選択 ボタンで下段アイテムランプを点灯させ 項目① ボタンで①を画面に表示させる。
ここで日替わり時刻の設定を行います。

まず日替わり時分の時の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録。
次に日替わり時分の分の変更を (+) (-) ボタンで行い (セット) ボタンで登録します。

①日替わり時刻

Step7
画面

①時分②年月日③週間プログラム
○ 上段

赤ランプ点灯 → ①欄移動②アラーム吹鳴③残業積算
○ 中段

①日替わり時刻②パスワード③サマータイム
○ 下段

項目① 項目② 項目③ (+) (-) セット

A B C 選択

Step8 パスワードの設定 (時刻改ざん等不正防止機能の設定)

注意：この項目に4桁のパスワードを一度登録しますと、以降時刻の修正や設定の変更を行う際、はじめに登録した同じパスワードを入力してからでなければ、変更を行う事ができなくなります。

登録する際は、登録した4桁のパスワードを下記にメモしておきましょう。

パスワード

ABC選択 ボタンで下段アイテムランプを点灯させ 項目② ボタンで②を画面に表示させる。

パスワードが登録されていない場合、画面に と点線のみ表示されます。

入力する際はまずパスワード左2桁を (+) (-) で設定し (セット) ボタンで登録。

次に同じ様に残りパスワード右2桁を (+) (-) で設定し (セット) ボタンで登録します。

②パスワード

Step8
画面

①時分②年月日③週間プログラム
○ 上段

赤ランプ点灯 → ①欄移動②アラーム吹鳴③残業積算
○ 中段

①日替わり時刻②パスワード③サマータイム
○ 下段

項目① 項目② 項目③ (+) (-) セット

A B C 選択

左2桁 右2桁

Step9 オプション設定 (step1~8以外の設定をします)

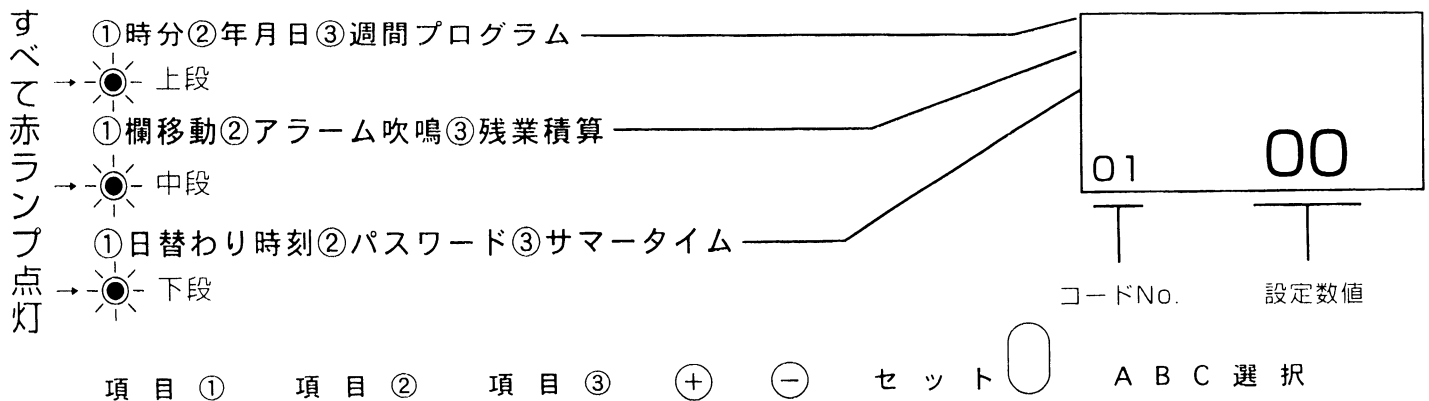
～設定方法～

上カバーを外した設定状態で (ABC選択) ボタンを5秒押し続けると、オプション設定モードに切り替わります。(上段 中段 下段アイテムランプがすべて点灯します)

画面上にまずコードNo.1番が表示されますので、オプション設定コード表を参照の上、設定したいコードNo.を (セット) ボタンで呼び出し、画面にコードNo.が表示されたら設定を (+) ボタンもしくは (-) ボタンで数値を変更して (セット) ボタンにて設定します。

～オプション設定コード表～

コード	項目	設定数値			
		00	01	02	07
1	分設定	60進方	100進方	なし	なし
2	残業単位	15分単位 (60進方印字)	30分単位 (100進方印字)	1分単位 (60進方印字)	なし
3	締日	1～31日			
4	カード種類	標準カード	S社カード	なし	なし
5	打刻印字表現	日付	なし	曜日 (英語)	曜日 (日本語)
6	カード表裏判別	判別する	判別せず		
7	未設定	必ず00にて			
8	12/24時間表示	24	12		
9	未設定	必ず00にて			
10	未設定	必ず00にて			
11	アラーム音量	01 (音量小) ・ ・ 02 (音量中) ・ ・ 03 (音量大)			
12	未設定	必ず06にて			
13	未設定	必ず01にて			
14	未設定	必ず00にて			



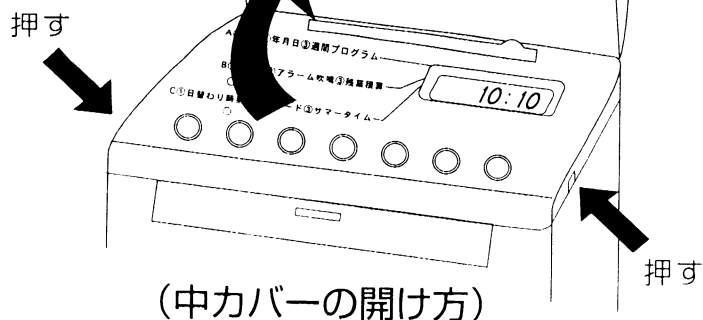
6 リボンの交換のしかた

タイムカードの印字が薄くなりましたら、リボンカセットを交換してください。

～手順①～ 上カバーを外し、更に中カバーを開きます。 開ける
上カバーの外しかたについては

3 上カバーの外しかたを参照ください。

中カバーは、右図矢印の個所を押しながら上方向に開きます。

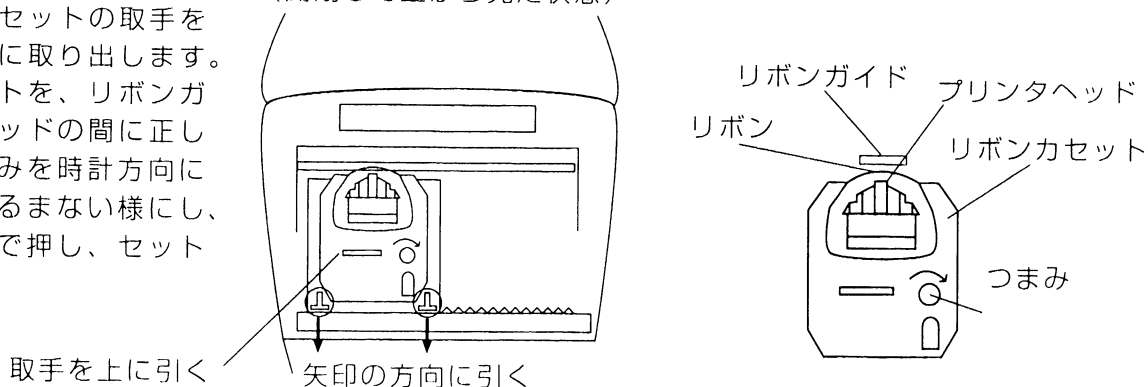


(中カバーの開け方)

～手順②～ リボンカセットを取り出し、新しいカセットをセットします。

右図のようにリボン押さえを手前に引いたまま、カセットの取手をもって引き抜く様に取り出します。次に新しいカセットを、リボンガイドとプリンタヘッドの間に正しく入れます。つまみを時計方向に回してリボンをたるまない様にし、パチッと合まるまで押し、セットして下さい。

(開閉して上から見た状態)



～手順③～ 中カバーと上カバーを、元通り閉じます。

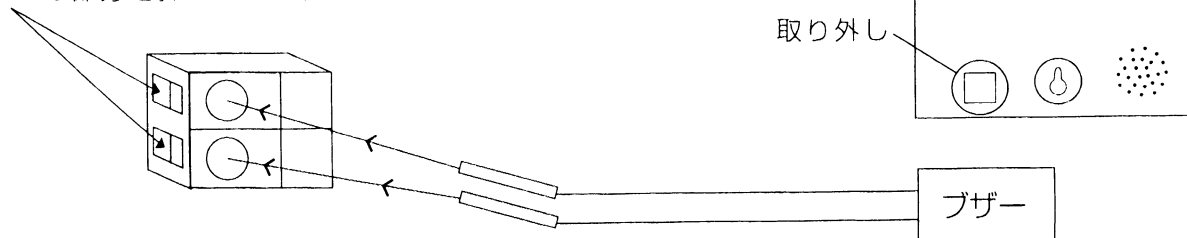
7 外部時報配線のしかた

注意：感電、ショートなどの恐れがあります。

電源は、外した状態で接続してください。

本体の背面下部の四角い部分を取り外し（隙間の接続する部分をカッターナイフ等で切ると、簡単に外れます。）その奥にある接続コネクターの穴に配線接続します。

オレンジの部分を押しながら入れる



◎御使用のタイムカードについて (mk-505専用カード)

カード種類	対応締め日
K-31 カード	15・31日
K-25 カード	25日
K-20 カード	20日

8 トラブルシューティング

故障かなと思ったら

現象	確認事項
<ul style="list-style-type: none"> ●全く作動しない ●カードを引き込まない 	<ul style="list-style-type: none"> *電源コードは正しい電圧のコンセントに差し込んでありますか？ *印字禁止日が設定されている日ではないですか？
<ul style="list-style-type: none"> ●印字しない ●印字が混色する 	<ul style="list-style-type: none"> *リボンカセットは正しくセットされていますか？
<ul style="list-style-type: none"> ●印字位置が合わない 	<ul style="list-style-type: none"> *カードタイプと締め日の設定を確認してください。 タイムカードが折れたり、曲がったりしていませんか？
<ul style="list-style-type: none"> ●タイムカードが中に入ったままよってこない 	<ul style="list-style-type: none"> *一旦コンセントを抜き、しばらくしてから再度コンセントを差し込んで下さい。

3 エラーコード一覧

エラーNo.	主な原因	確認
E C - 1	アラームセンサーエラー	一度コンセントを抜き、しばらくしてから再度差し込む。
E C - 2	プリンタセンサーエラー	リボンカセットが外れていないか確認。
E C - 3	カードセンサーエラー	カードの汚れや折り曲がり。 締め日や月日設定の確認。
E F C	カード表裏面読み取り不良	カードの表裏面、締め日設定の間違ひ。 カードの汚れや折り曲がり。

※確認後に再度エラーが出た時は、販売店にご連絡下さい。

⚠ 危険

AC出力のある機器で外部の機器の電源を入り切りする場合、接続工事は有資格者以外には行わないでください。また、工事の際は本機および接続する機器の電源プラグは必ずコンセントから抜いてから行ってください。通電時にはドライバーなどの金属物で接続端子に触れないでください。誤って端子に触れた場合、感電、火災の危険があります。

⚠ 危険

- この機器のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- この機器を改造しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をししないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また電線のむき出し、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、異物（金属片、水、液体など）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- アース接続してください。アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 危険

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に水などの入った容器または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。（必ずプラグを持って抜いてください）コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- プリンターのヘッドの部分には、触れないよう、ご注意ください。けが、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは奥まで確実に挿入してください。火災、感電の原因となることがあります。
- タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 扉が開いているときに、扉に寄りかからないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 乾電池を機器に挿入する際は、電池の極性（プラスとマイナスの向き）に注意して、間違えないように挿入してください。間違えますと、電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となることがあります。

日頃のお手入れについて

半年に一度は電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

三田事務機株式会社

 0120-22-8505

(各営業所共通)

○サービスネット

東京サービス・神奈川サービス
関西サービス・愛知サービス